

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立宇和高等学校

学校番号 (38)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 16日 (月)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	門田 克之	西予警察署 地域警備課長	
	西川 宏志	宇和町商業協同組合 理事長	
	兵頭 章夫	西予市産業部長	
	岩瀬 憲治	社会福祉法人西予総合福祉会老人事業部長	
	竹内 奈美	西予市総合福祉会なかよしクラブ職員	
	黒田 剛	南予地方局農林水産振興部八幡浜支局地域農業育成室西予農業指導班主幹	
	和氣宗一郎	西予市商工会 青年部元部長	
	富本 周作	宇和中学校 教頭	
	柿原 稔広	P T A副会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
(1) 学校経営 ・ 探究活動によって、様々な出会いやチャレンジをもとに課題解決力の向上など、スキルの向上が見られ、地域にとっても活力に繋がり、双方に良い効果が得られ大変ありがたい。 ・ 情報発信及び広報活動において、意欲的な取組がみられ、特に総合学科の改編を見据えた中学生や保護者、地域住民に対しての丁寧かつ戦略的な周知が行われたことは高く評価できる。反面、教科指導の質の向上に向けた意欲はあるものの、具体的な指導法の工夫や教材開発にかかる時間が十分確保できていないと感じた。教員同士の知見共有や共同での教材研究といった「組織的な授業改善」の仕組み作りが必要。今後は既存の業務改善を行い、教育の質を高めるための「研鑽の時間」を優先的に配慮することができればと考える。 ・ 総合学科の情報発信において地元を中心に南予地域に展開し、宇和高校の魅力を積極的にアピールする活動をされており、志願者確保につなげるための取り組みがなされている。 (2) 学習指導 ・ 生徒をいかにやる気にさせるか、のせるかで学習時間や姿勢に影響が現れると思う。子どもたちに寄り添っていただき、やる気を引き出せるようご尽力をお願いします。 ・ 昨年度を大幅に上回る資格合格者の数の増加は、学習指導の充実を象徴する素晴らしい成果だと感じる。生徒が具体的なスキルを習得し実績を積み上げている点は新学科におけるキャリア教育の基盤として心強く感じる。	・ 探究活動の改革については、西予市の協力と魅力コーディネーターの支援があつてのことで、多くの地域人材を活用することができた。この繋がりを今後も継続して活かしていきたい。 ・ 戦略的な広報活動により受験生も増加し、10年ぶりに全校生徒が300人を超える見込みである。しかしながら、本当の成果は進路実現にあると思う。総合学科になり今までにない進路が開けることが中学生や保護者の魅力となることは間違いない。教職員間の連携を密にし、様々な課題を共有し教育の質を高め、宇和校ならではの魅力を創造していきたいと考えている。 ・ R7年度は南予の中学校を6回にわたり訪問させていただいた。PR活動として志願者確保に繋がったと考えています。 ・ その気にさせることは教師の大きな仕事です。自己肯定感が高め、意欲を持たず、高めの指導を目指していきます。 ・ 各教科において、熱心に粘り強く指導していることで資格取得の成果が生徒の意欲に繋がっていると感じている。将来の進路実現に向けて、特に新学科の成功につながる1つの鍵にもなってくると考えるので、さらに生徒の意欲につながる指導を心掛けたい。

・「生徒による授業評価」の「予習復習をしている」という項目で2年続けて25%程度の低い自己評価をしているが、家庭学習において2時間以上が7割以上であり、部活動、地域活動等多忙な学生生活において努力していると思われる。また、図書貸し出しのデジタル化整備なども進められており、学力のみならず、コミュニケーション力や想像力の向上、また精神安定などへの効果として、読書活用の推進が期待される。

（３）生徒指導

・多様性を認め合う人権意識の高い学生が多いように感じる。引き続きSNSなどによる誹謗中傷に惑わされない生徒の育成に尽力されたい。

・昨年、挨拶指導の徹底をお願いしました。宇和高周辺をよく散歩しますが挨拶してくれる生徒さんが増えてきたように思います。ぜひ継続した指導をお願いします。

・「教育相談・特別支援教育」において、生徒の充実度80%という高い数値は組織的な支援が機能しており高く評価できる。今後は残る20%の生徒が抱える不安やニーズを細やかに汲み取り、個別の支援計画の制度をさらに高めることで、全生徒が安心感を実感できる体制への進化を期待したい。

・発覚されているいじめ事案が3件ということであるが、事後対応や未発覚の事案がないか慎重な対応が求められる。「命の大切さや健康や安全に関する指導がよく行われていますか」また、「人権・同和教育を通して、子どもさんの人権意識は高まっていると思いますか」の問いの結果、行われていると答えた生徒が85%と高い数値であるが、いじめ0を目指して人権教育の推進に努めていただきたい。

（４）進路指導

・熱心に生徒に関わっていただき個別指導の充実が結果に結びついていると感じる。引き続き、学生個々に対応した取り組みの推進をお願いします。

・大学進学者も増加し、今後進路目的で入学する生徒も増加すると思います。先生方のご指導の賜物です。

・学校評価としては、進学における国公立や難関私立大学の合格者数を評価の基準されているのは妥当かもしれないが、高い目標設定のため低評価となっている。進学及び就職希望者に対する、先生方の生徒個々に応じた丁寧な指導により、進学率、就職率はともに高く評価以上の成果があるのではないかと。

・予習復習が基礎学力の向上や進学目標達成に対して、必要不可欠であることは理解できる。時間の確保は大切であるが、目標に近づいているか等の方向性と成果を明確にしたい。また、読書活用に関しては毎年の課題となっているので、工夫を凝らして推進していきたい。

・人権教育は毎年継続して学習している。人権相談課が細やかなアプローチをしてくれているので、安心感はある。しかし、近年SNSの問題が多く起きており、ネット上での人権意識の理解を強く指導していく必要性を感じている。

・挨拶指導に関しては、中学校でもしっかりと指導していただけており、継続して指導できることは有難い。西予市の子どものたちの良さにしたい。

・不安を抱えている生徒は少なからず居ることは心配であるが、人権相談課を中心に学習支援員の先生やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの先生方のサポートが手厚く、有難く感じている。しかし、手をかけ、細かな配慮・支援を行うほど教職員の負担も増えていることは懸念材料であるが、チームとして協力体制を整え、生徒の自立支援の成果につなげたい。

・いじめの認知は積極的に行っていく教育事情において、今後も増加することは推測される。人権・同和教育はもちろん、教育活動全般を通じて、人格陶冶につなげていきたい。

・生徒個々に細やかな指導ができるところが小規模校の良さであると思う。今以上に高い目標設定をできる進路指導を実践し、生徒の目標実現に尽力していきたい。

・進学意欲を今以上高めれるように、特に地元の中学生在が宇和高校に行きたいと思える進学指導を目指していきたい。

・高い目標に関しては、力づけ・励ましをしながら取り組みたい。安易な目標設定にならないように、生徒の成長を期待した位置に設定し努力させたい。

(5) 特別活動

・陸上部の活躍には目を見張るものがありました。地域と一緒に盛り上がっているところも素晴らしい。

・顕著な実績に加え、地域に根差した活動が極めて活発に行われていると感じた。特に市議会との連携や地域のボランティア参加、中学へのアウトリーチ活動などは学校のプレゼンスを地域社会において確固たるものにする取り組みでした。「総合学科」への改編を前に地域を「学びのフィールド」として活用する基盤が構築されており、新学科における探究学習の加速に繋がることを感じる内容であった。

・部活動での活躍が素晴らしく、先生方指導者の御尽力に敬意を表します。

・部活動やクラブ活動での活躍や、地元のイベント、中学校の行事等への積極的な参加など地域に貢献する活動が充実している。今後も継続して高校及び地域を盛り上げてほしい。

(6) 業務改善

・子どもたちのために多くの時間を割いておられることに変え感謝している。学校現場の改善は一筋縄ではないことは承知しているが、子どもたちとのより良い関係を築くためにも意識を変え、少しでも業務が改善されるよう取り組みの継続をお願いする。

・具体的な指導法の工夫や教材開発にかかる時間が十分確保できていないと感じた。広報活動での成果を授業満足度へと繋げるためには、教員同士の知見共有や共同での教材研究といった「組織的な授業改善」の仕組み作りが必要。今後は既存の業務改善を行い、教育の質を高めるための「研鑽の時間」を優先的に配慮することができればと考える。

・テスト自動採点システムの活用やスクールサポートスタッフの業務支援により教職員の負担軽減が図られているものの、評価値は低い状況であるため、新学科の新設等で来年度以降もさらに業務多忙が見込まれるので、先生方の健康面、ストレスへの悪影響が及ばないよう、さらに業務負担の軽減につながる工夫を行っていただきたい。

(7) その他

・自己評価の基準数値について、全般的に目標を高く設定されており低評価となっている項目も少なくないと考えられるので、高い理想を追求することは大切であるが、低評価が継続する項目については評価値の設定の見直しなどの検討も必要ではないか。

・昨年度から探究授業に関り、生徒の皆さんと地域の課題解決に取り組むことができました。今後も継続して探究授業を行っていただければ幸いです。

・今年は陸上部の活躍が目を見張ったが、産業フェアの全国大会出場や探究活動での活躍なども宇和高校の魅力になったと感じている。商業部や英語スピーチなど様々な各種大会に積極的に参加しており、継続して積極的な参加を勧めていきたい。

・「地域を学びのフィールド」として活用する発想の視点は斬新です。地域に根差した学校として、地域から信用され、なおかつ誇りに思ってもらえる新しい学校を目指していきたい。

・部活にしても学習にしても高校のみの取り組みの成果ではありません。地域一体となって縦の連携が成果につながるような取り組みを行いたい。

・部活や家庭クラブ、生徒会、探究活動班等、多くの生徒が活躍してくれたことは誇りに思う。地域活性化にこれからも関わってほしい。

・新学科に向けて課題は山積みであるが、すべては生徒の成長に繋がる環境整備、改善を行いたい。教職員の意欲がうまく発揮できるように業務内容を精査し、生徒と多くのコミュニケーションがとれるようにしたい。

・広報活動での成果を、来年度は実績に反映していくことが求められる。新学科において各系列での課題を共有し、組織的な授業改善を行ってほしい。教育の質を高めるためにも教職員が余裕を持てる環境を構築したい。

・業務の多忙感は働き方改革に求められる喫緊の課題です。健康面に悪影響が出ないように慎重に検討していきたい。休暇の取得等に関しても配慮していきたい。

・項目数が多く、重点項目等が理解しづらいことは反省点である。評価値はクリアできる位置に設定できることが望ましい。達成感が次回の意欲につながるような評価値設定を考えていきたい。

・今年は本当に地域の方や各所関係の方々に探究活動に関わっていただき、充実した授業になりました。このご縁を大切にしつつ生徒の人間的な成長につなげることができれば幸いです。